

## 日本計画行政学会第41回全国大会 報告

「エシカル消費」の教育・啓蒙活動の研究の一環として、9月7日から2日間、日本行政学会第41回全国大会に参加し、ワークショップで「大学におけるエシカル消費教育の取り組みについて」を発表した。

日時:2018年(平成30年)9月7日(金)~8日(土)

学会名:日本計画行政学会第41回全国大会

会場:福岡県福岡市城南区七隈 8-19-1

福岡大学 A 棟 6 階

発表者:千葉商科大学 サービス創造学部 学部長 今井重男、准教授 滝澤淳浩

内容:

研究報告F、ワークショップF 9月8日(土) 15時15分から16時45分

第4会場 「大学におけるエシカル消費教育の取り組み」

- ・発表資料に基づいて、本学学長プロジェクト2におけるエシカル消費の教育・啓蒙活動の研究の意義や目的について説明を行う。
- ・プロジェクト立ち上げから約1年半の活動の内容を時系列で説明を行い、今後の活動計画など話しをした。
- ・報告後、参加者から、エシカル消費をどのような形式で学生教育にもっていき、結び付けているのかとても興味があり参加した。とても良い活動であると思うが、学生たちに、もし、現状のまま自然破壊に繋がる行動を自分たちが継続すれば世の中がこのようになってしまう、これで良いのか、という切り口で問いただし、それについてどう思い、だから、どのようにしないとならない、という意識や行動の変化の発表を期待したい。
- ・また、エシカル商品は人体にとっても自然環境にとっても当然良いことはわかるが、コスト面、品質面とのバランスをどのように考え、行動させるのかというのが永遠の課題であり、次回、成果があれば是非、聴かせて欲しい。とのことであった。

以上